

「四日市臨海部産業活性化促進協議会」設立趣意書

石油・石油化学産業の国際的な再編が進む中、わが国の石油・石油化学産業においても事業所の統廃合による合理化や機能分担による競争力の強化が図られつつある。

こうした動きの中、四日市臨海部工業地帯に立地する石油・石油化学メーカーにおいても、生産機能の高度化・製品の高付加価値化に伴って未利用地・遊休資産が生じつつあり、これの有効活用が喫急の課題となっている。

三重県、四日市市、四日市港管理組合並びに地元産業界では、平成15年以来「技術集積活用型産業再生特区」構想により、四日市臨海部工業地帯の再生と構造転換に取り組んできたが、当該構想の成果を踏まえつつ、今後は、上記未利用資産等の有効活用を視野に入れながら、当地域を国際的にも競争力を有する機能性化学産業の集積地として、周辺地域に立地する電気・電子、自動車産業等加工組立産業への能動的提案力を兼ね備えた高付加価値型・知識集約型産業へと転換を推し進める必要がある。

具体的には、地元産業界、三重県、四日市市、四日市港管理組合が協働して、石油・石油化学産業の強み（技術、インフラ、人材、人脈）を活用した、

- ① 四日市臨海部工業地帯の遊休地・未利用地の積極的な活用
- ② 素材・部材産業の研究機能強化（優遇措置など支援策の強化、四日市港ポートセールスとの連携による外資系化学企業をはじめとする素材・部材産業の研究開発機能誘致等）
- ③ 人材の育成

を強力に推進することが重要である。

そこで、「四日市臨海部産業活性化促進協議会」を設置し、地元産業界、三重県、四日市市、四日市港管理組合が一体となって、四日市臨海部の産業活性化に向けた取り組みを推進する。

平成18年9月1日

三重県
四日市市
四日市港管理組合
四日市商工会議所